



- 起業支援補助金
地域資源を活用したコミュニティビジネスの起業を支援します。
- 自治振興区活動促進補助金
自治振興区が実施するスモールビジネスを支援します。
- 2、まちなかの空き店舗を活用した起業支援
- 中心市街地活性化補助金

主な施策

農家レストランなど市民の起業を支援

起業している人、これから起業しようとする人、さまざまな施策で、市民の「儲ける」(スモールビジネス)を支援します。

1、農村の暮らしを活用した起業支援

地域資源を活用したコミュニティビジネスの起業を支援します。

○ 起業支援補助金

地域資源を活用したコミュニティビジネスの起業を支援します。

○ 自治振興区活動促進補助金

自治振興区が実施するスモールビジネスを支援します。

- 1、情報発信交流事業
ホームページなど情報発信の充実を図ります。
- 2、市民活動BOX事業
個人や団体が行う観光や地域づくりイベントの情報発信を支援します。
- 3、庄原の食を楽しむ起業に学ぶ会
「食」を楽しむ会を開催し、すでに起業している農家レストランなどの事例に学び、新たな起業を促進します。

情報発信と交流

効果的な情報発信に努めます。

儲ける観光のプロデュース

市民の「儲ける」仕組みを、さらにパワーアップさせます。

1、「庄原市観光振興公社」(仮称)設立へむけての調査検討

2、観光の魅力づくりの再構築

まちなか再生、農家民宿・農業体験、山を楽しむ、川を楽しむ、花を楽しむ、企業観光など、農村の暮らしを楽しむ魅力づくりに取り組みます。



儲ける観光の舞台づくり

平成22年を目標に、市民のさまざまな「儲ける観光」の舞台として、「2010庄原さとやま体験博」(仮称)の開催にむけての調査検討

- 1、「2010庄原さとやま体験博」(仮称)の開催にむけての調査検討
- 2、軽トラ産直市の仕組みづくり

2010庄原さとやま体験博(仮称)のイメージ図



四季の美しさの中で、繰り返される「里山の暮らし・農業のある暮らし」にひきつけられる人々が年々増えています。

庄原市では、農村・農林業資源を背骨にした域内経済循環を作り出し、安定した家計を実現し、住んでよし、訪ねてよしの地域社会を目指す「みどりの環」経済戦略ビジョン—幸せ倍増計画—を策定しました。その基本構想を実現するための具体的計画として、農業自立振興プロジェクト、木質バイオマス活用プロジェクト、観光振興・定住促進プロジェクトが動き始めました。

今日は、観光振興・定住促進プロジェクトの概要についてお知らせします。

21億円への挑戦

観光入込客一人が、プラス1,000円を消費する仕組みをつくられば、庄原市の観光に新しい、21億46百万円のマーケットが誕生することになります。



【平成16年の観光入込客 214万6千人×1,000円=21億46百万円】

【目標】「市民が儲ける21億円の新たなマーケット」への挑戦

平成17年=2,228円

↓

平成21年=3,228円

観光客1人当たり消費額1,000円UP

市民が儲ける観光をめざす「感動！観光振興プロジェクト」

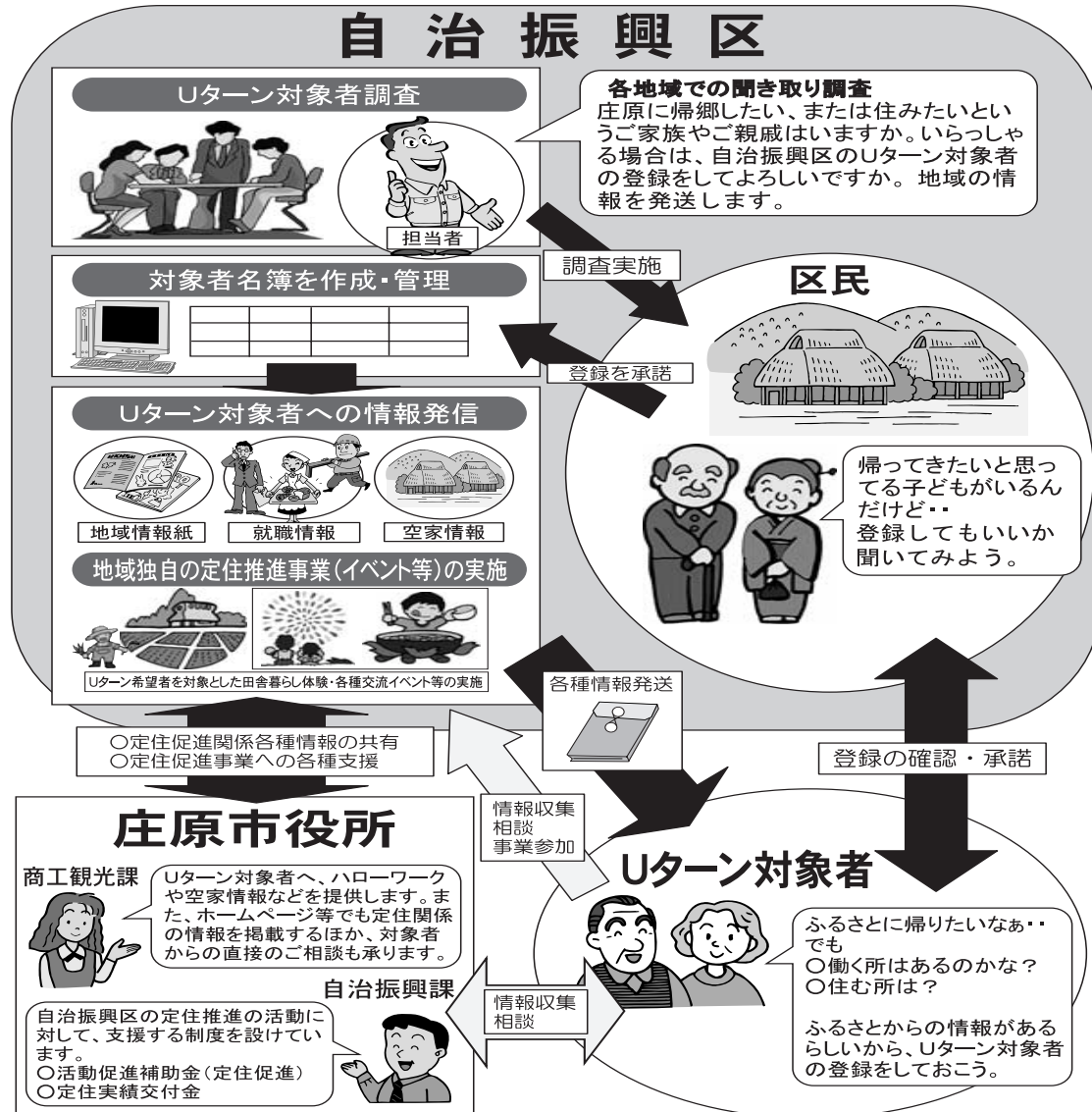
観光は裾野の広い総合産業であるといわれています。観光客の行動は、旅行業、宿泊施設、交通機関だけでなく、農業、飲食業、特産品製造など、多岐にわたり地域経済全体を押し上げるとともに、さまざまな雇を生み出します。「感動！観光振興プロジェクト」では、本市の強みである農村文化・農林業資源を核にした観光による経済循環の仕組みを作り、観光のさまざまな場面で、市民が主体的に関わり、儲けられる仕組みを創り出します。

「帰郷への取り組み」地域から始めませんか!!

「庄原に帰りたい」「庄原に住みたい」と思っているご家族やご親戚に対して、地域から呼びかけを行っていきませんか。

自治振興区が行う定住促進の取り組みに対しては、補助金を交付するとともにさまざまな情報を提供します。

■自治振興区による定住促進への取り組み例



■自治振興区活動促進補助金交付事業 (定住促進事業)

自治振興区が、地域出身者などを対象に取り組み「定住促進活動」に対して、補助金を交付します。詳しくは12ページをご覧ください。

■定住実績交付金

(平成20年度実施予定)
地域が独自に取り組む「定住促進活動」の成果に応じて、一定額の交付金の交付を予定しています。



今櫛会 (西城町大屋) は、広島市在住の出身者の会「広島今櫛会」と交流し、情報交換や地元特産品を販売するなど、出身者と新たなネットワークづくりに取り組んでいます。



定住の総合窓口となる定住推進係の3人

「待ったとるよ! 庄原定住プロジェクト」

本市の人口は、高度経済成長期における若年層の流出以後、減少傾向が続いています。人口の減少は、地域活力の低下に直接的な影響を及ぼすことから、定住施策を積極的に推進し、一定人口を維持・確保することが強く求められています。

そのため、「待ったとるよ! 庄原定住プロジェクト」では、定住促進に向けて、さまざまな施策や支援を行います。

■定住推進の総合窓口を設置

商工観光課に定住推進係を設置し、空家情報をはじめ帰郷や定住に必要な情報の収集、定住希望者からの問い合わせへの対応、ホームページでの情報発信などを行います。

■情報発信・交流

- 1、ホームページの充実
Uターン希望者にとって必要な情報や、庄原市の魅力を情報発信します。
- 2、広報しようばらの提供
広報しようばらを出身者へ提供します。
- 3、庄原応援団結成準備
庄原市出身者やゆかりの人を対象に庄原応援団結成準備や庄原ふるさと大使を任命します。
- 4、空家活用研究会
空家を、定住希望者に素早く着実に提供できる仕組みを検討します。
- 5、倉庫ビジネス事業化研究会
空工場・空事務所などの有効活用を図る仕組みを検討します。

■定住促進のための支援策(起業・住居)

- 1、起業支援補助事業
地域資源活用や地域課題の解決に取り組むコミュニティビジネスの起業に対して助成します。
- 2、就農支援事業
就農のため、県立農業技術大学が主催する就農研修(入門コース)を受講した場合、受講料の1/2を補助します。
- 3、空家活用改修費助成事業
空家を新たに取得・改修し、定住しようとする人を対象に、改修費の一部を助成します。
- 4、広島市への通勤通学定期乗車券助成事業
庄原市内から広島市内へ通勤、通学される方を対象に、バス定期乗車券購入費用の一部を助成します。

有附幸男さん (新庄町)

定年を迎え、2001年に大阪からUターン。アルバイトをしながら、家庭菜園やドライブなど第2の人生を楽しむ。現在は、新庄西自治会の会長も務め「定住希望者は誰に何を聞いていいかわからない。市役所の定住窓口が一本化され、多くの人が喜ぶのではないかと。また、Uターン経験者として、自治会からも情報発信をしていきたい」と話す。



あなたの夢を応援します！

今年度新たに創設した補助事業などで、市民の皆さんの活動を応援し、「庄原市の元氣」につなげていきます。

■起業支援補助事業

地域資源活用や地域課題の解決に取り組むコミュニティビジネスの起業を行う人に、起業に必要な経費の一部を予算の範囲内で助成します。

対象者

コミュニティビジネスを起業する市民

補助額

補助対象経費の3/5で、300万円を限度。

事業期間

平成19年度から平成23年度（5年間）の事業とする。募集締切（第1次）7月31日

対象事業の例

活動分野	具 体 例
観光・交流	観光ガイド、国際交流、交流・体験事業運営、農家民泊、農家レストラン
芸術文化	講座・教室等の開設、体験学習、絵画等の製作・販売
まちづくり	宅配、空き店舗活用、交流スペースの貸出し
ものづくり	食品加工、伝統工芸、特産品の開発・販売
農 業	市民農園の開設、農産物の販売
就 労 支 援	障害者・女性・高齢者就労支援、在宅勤務支援、パソコン教室
環 境	リサイクル、環境美化、リサイクルショップ、廃油石鹸の製造
情 報	情報誌発行、通信事業、ネット販売事業
子育て支援	保育、子どもの一時預かり、ベビーシッター、フリースクール、野外教室
福 祉	各種介護、給食、外出移送、住宅改造、買物代行、出張理容、福祉施設運営
そ の 他	倉庫業

問い合わせ

商工観光課定住推進係 ☎0824-73-1178

■空家活用改修費助成事業

空家を新たに取得・改修し、庄原市に定住しようとする人に対し、空家改修費の一部を予算の範囲内で助成します。

対象者

U・J・Iターンの方が新たに空家を取得し、庄原市に定住する場合の改修費で、つぎの要件を満たす人。

要件

- ①平成19年4月1日以降に転入した方。（転入前に市外へ1年以上居住されていた方）
- ②新たに空家を取得し、所有権を登記した方。
- ③定住を前提としてその家に居住する方。
- ④2親等以内の親族からの空家取得でないこと。

補助額

補助対象経費の1/2で、100万円を限度。

事業期間

平成19年度から平成21年度（3年間）の事業とします。

募集締切（第1次）7月31日

問い合わせ 商工観光課定住推進係

☎0824-73-1178

■自治振興区活動促進補助金交付事業（定住促進事業）

自治振興区が、地域出身者などを対象に取り組み「定住促進活動」に対して、補助金を交付します。

事業例

- ・自治振興区内に定住促進窓口を設置
- ・地域内のUターン対象者の名簿作成と管理
- ・対象者に対する各種情報発信
- ・定住促進を目的とした「地域情報紙」の作成
- ・対象者への定住促進を目的に、地域が企画した事業（交流体験イベントや相談会など）

補助額

補助率 対象事業費の4/5以内

補助限度額 1事業につき100万円

問い合わせ 自治振興課

☎0824-73-11209

■中心市街地活性化補助事業

まちなか（中心市街地）の風情や街並みを活かし、空き店舗を活用した事業や商店街イベントなどに補助金を交付します。

対象地区

庄原地区と東城地区の中心市街地

対象者

商店街または商店街に類する団体と個人

事業内容と補助額

●空き店舗等活用事業（コミュニティホール・ギャラリーなどの開設）

改装費の補助

補助対象経費の1/3で、240万円を限度

借上料の補助

補助対象経費の1/2で、月額4万円を限度

（中心市街地のうち指定区域は2年間分・その他は1年間分）

●空き店舗等を活用した創業支援事業（小売業、一般飲食店など）

借上料の補助

補助対象経費の1/2で、月額4万円を限度

（中心市街地のうち指定区域は2年間分・その他は1年間分）

●まちなかイベント事業

補助対象経費の1/2で、40万円を限度

問い合わせ 商工観光課商工観光係

☎0824-73-11179

観光・定住に関するお問い合わせは、

商工観光課 ☎0824-73-11178

岡野商工観光課長



ー感動！観光振興プロジェクトについて

いまある観光資源や観光イベントを、さらに魅力的なものにし、庄原市全体として点から線へ広げたいと思います。従来からの国営備北丘陵公園・かんぼの郷庄原・帝釈峡などの観光地に加え、さらに「農村の暮らし・農業のある暮らし」をサービス化することによって儲ける機会の裾野を広げ、市民の皆さんや地域の「儲ける観光」の仕組みを創りたいと考えています。

ー待つとるよ！庄原定住プロジェクトについて

特に、自治振興区の皆さんと連携をさせていただきながら、自治振興区を中心とした顔の見える定住促進活動が進められればと思います。定住活動が地域から市民運動として広がることを期待しています。

ー「2010やま体験博」について

感動！観光振興プロジェクトでは、2010年に「さとやま体験博」を開催したいと考えています。昨年の秋を振り返ると毎週土曜・日曜日は庄原市のどこ

かでイベントが開催されてきました。すごいですね。これが庄原市の強みであり、例えば秋であれば、広島県の実りの秋と言えば庄原のシーズンと言われるようにしたいと考えています。市民の皆さんや地域に儲ける機会を創り、観光客の皆さんが喜んで消費してもらえるような仕組みをいっばい創っていききたいと思っています。

ープロジェクトを成功させるためには

市民の皆さんの活躍を期待しています。自らが楽しみ、生きがいを感じながら、農村の暮らしは素敵だと自信を持って提案していただければと思います。

市民の皆さんと行政が協働して、同じ目線で、同じ目的に向かって一緒に取り組んでいきたいと思っています。「こういうことをやってみたい」「情報が欲しい」「いい補助金がないか」など何でも結構です。お気軽に声をかけていただければと思います。